

是永　宙　議員

新ごみ処理施設を「資源循環型社会を学び、体験し、実践する拠点」に

問 環境学習、リユース、地域振興、交流、防災などの対外的機能を集約した別棟を検討できないか

答 一般利用者にとって身近で訪れやすい施設とするために、別棟にこだわらず、可能な限り反映できるよう、事業者と協議します

問 新ごみ処理施設を単にごみを処理するための施設ではなく、「資源循環型社会の拠点」として位置づけるべきと考えるがどうか。

答 環境部長

ごみを適正に処理する機能に加え、ごみ減量やリユース、資源循環について学び、体験し、実践につなげる「資源循環型社会の拠点」として位置づけます。

問 対外的機能のうち環境学習、リユース、地域振興、交流、防災などの機能を一体的に整備できないか。

答 環境部長

「ごみ減量や資源循環について学び、体験し、実践する」というコンセプトのもと、それぞれの機能を有機的につなげ一体的に整備することで、より効果的な施設運営が実現できると考えています。

問 環境学習、リユース、地域振興、交流、防災などの対外的機能を集約した別棟を検討できないか。

答 環境部長

別棟として集約するかどうかは、事業者決定後に、提案内容やコスト・工期等への影響も含めて協議・調整していくこととなるため、現時点でお約束できるものではありませんが、田園景観との調和や地域材の活用、一般利用者にとって身近で訪れやすい施設とすることについては、別棟にこだわらず、実施設計において可能な限り反映できるよう、事業者と協議します。

問 資源循環を進めるための場所と分かるような施設名称を検討できないか。

答 環境部長

施設名称を聞いただけで「資源循環を進めるための場所である」ことが伝わるよう、市民の皆さまのご意見をお聞きしながら進めます。

問 市のごみの現状や分別方法などを学んで行動につなげられるような、環境学習ツールとして「小冊子」を作成することはできないか。

答 環境部長

市民が分かりやすく学び、日々の生活の中で行動につなげられる環境学習ツールとなるよう作成を進めます。

その他の質問

通学先にかかわらず高校生が地域で学び、チャレンジできる仕組みづくりについて